

保 和

お客様を大いに沸かせたナンキンハゼ祭。家中小の子どもたちの力を見せてもらいました。

平成28年11月7日

栃木市立家中小学校 TEL 27-2367

深まりゆく秋を満喫してほしいです



10月21日にナンキンハゼ祭が行われ、子どもたちの熱の入った演技を見ることができました。今年は、例年よりも練習期間が短かったため、本番の「でき」をちょっと心配していたのですが、さすがは家中小の子どもたちです。スローガンにもあったように、フルパワーで最高の演技をしてしっかりとお世話になっている方々に感謝の気持ちを伝えることができました。とって「カッコよかった」ナンキンハゼ祭でした。

ところで、近年、暖かかった気候が急に寒くなることが多く、秋を感じる

事が少なくなっていると思いませんか。しかし、今年は今のところ順調に寒くなってきており、秋の深まりを感じられています。家中小でも、銀杏が落ち、ナンキンハゼも少しずつ色づいてきました。今年は真っ赤に染まったナンキンハゼが、子どもたちを

見守る姿が見られそうです。10月31日から「持久走」の練習も始まりました。深まりゆく秋を満喫しながら、11月も子どもたちが楽しい学校生活送れるよう、支援していきたいと思っています。今月29日には、持久走大会もあります。この行事でも、子どもたちの頑張りを見ていただけるのではないかと思います。どうぞ、こちらもご期待ください。

ナンキンハゼ祭。全力で頑張ったこと

運動会終了後直ちに始めたナンキンハゼ祭の練習。決して長いとは言えない練習期間でしたが、子どもたちは、自分たちのアイデアを出したり、先生方の提案をしっかりと聞いたりしながら、一生懸命に練習に取り組んでできました。本番の様子は、当日皆様にご覧いただいた通りですが、ここで、頑張った子どもたちに取材してみました。子どもたちのナンキンハゼ祭での達成感が詰まっています。是非、ご覧ください。

- ナンキンハゼ祭で、私は、「臼の役」になって、頑張りました。屋根から「ドスン」と降りて猿をやっつけたところが楽しかったです。 1年 篠原 希美
- スイミーの劇で「昆布やわかめ」の役をやりました。最初は緊張したけれど、やっていたら緊張がなくなってきました。楽しかったです。 2年 松島 優斗
- ぼくは、小道具をみんなで作ったのが頑張ったと思います。発表の時、もじもじしないできちんとできたから嬉しかったと思いました。 3年 大塚 充
- 自分が頑張ったことは、大きな声で歌を

歌ったことです。練習ではミスもあったけれど、本番は、ちゃんとできたので良かったです。 4年 出井 翔

○ 大きな声で、噛まないようにセリフを言えるように頑張りました。しっかりとセリフを言うことができたので、とても嬉しかったです。 5年 青木 優和

○ 栃木市民の歌の伴奏をやりました。最初は不安だったのですが、一生懸命練習して本番は間違えずに楽しく弾くことができました。 6年 青木 凜子

都賀地区小中学校音楽祭



10月26日に、ハートホールにおいて「都賀地区小中学校音楽祭」が行われました。本校からは、5・6年生が参加をしました。演奏した曲は、5年生が「鉄腕アトム」、6年生が「レイダースマーチ」です。

両学年とも、音楽の時間を使って着実にいい音を出せるようになってきました。本番でも、ちょっとした緊張をエネルギーに変えて、すばらしい演奏を観客の皆さんに披露することができました。また、練習では今年も古沢三夫先生からたくさん専門的なご指導をいただきました。大変お世話になりました。ありがとうございました。

子どもたちの感想をご覧ください。

○ 初めての音楽祭だったので、不安で緊張したけれど、本番はみんなで心を一つにして「鉄腕アトム」を演奏できたので、嬉しかったです。 5年 白石 花蓮

○ 演奏曲は「レイダースマーチ」で、鍵盤ハーモニカを担当しました。最初は難しいと思ったけれど練習してできるようになりました。 6年 富田 優斗

第1回「刑部人賞」の

表彰式がありました



「ナンキンハゼ祭」において、刑部人勉強会（代表 刑部光一様）より「刑部人賞」の表彰をしていただきました。名誉ある賞をいただいたのは次の子どもたちです。

金賞 金子 涼太さん

銀賞 渡邊宗一郎さん 早乙女太玖さん
牛久 陽斗さん

銅賞 長 秀樹さん 白石 花蓮さん
篠崎 春菜さん 本島 帆花さん
吉岡 千織さん 落合 彩那さん
福富堅士郎さん 佐藤 浩徳さん

「刑部人勉強会」の方々による審査会を経て当日の表彰になったわけですが、日々の授業で制作した作品を評価していただくととてもいい機会をいただいて、学校としては大変嬉しい限りです。今後も、子どもたちの造形意欲を大いに高めてくれる機会になってくれると思います。

避難訓練を行いました

11月4日に、避難訓練を行いました。今回は「地震」を想定した訓練でした。子どもたちは、定期的に訓練している避難方法や注意事項を忠実に守って、確実に避難することができました。

今年に入ってから、4月の熊本地震、10月の鳥取県中部地震のように、震度6以上の地震が続いています。「自分の身のまわりでも大きな地震が起こる」ことを想定しておき、そのための準備や心構えについて、家族で話し合いをしておくことも必要だということを、子どもたちに伝えました。いざというときに、自分の体や大切な家族・友達を守れる子どもになってほしいと思っています。